

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	青森県における総合的な浸水被害対策の推進（防災・安全）緊急対策							重点計画の該当	○										
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）			交付対象	青森県														
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県全域において、時間雨量40mm相当（概ね1/10）の降雨により想定される外水による浸水被害の防止・軽減を図り、青森県基本計画未来への挑戦に掲げる「安全で安心できる県土づくり」を推進する。</li> <li>施設の経年劣化の進行等により機能が低下したダム施設の機能の回復・向上を図る。</li> </ul>																		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>馬淵川において平成25年9月洪水と同等の出水に対し、床上浸水の恐れがある家屋戸数を減少する。</li> <li>青森県の河川の整備率を、38.6%（H26年度末）から39.5%（H31年度末）に向上。</li> <li>機能を回復・向上させるための施設改良が必要なダムを4箇所（H26年度末）から3箇所（H31年度末）にする。</li> </ul>																		
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考										
					当初現況値	中間目標値	最終目標値												
					(H26末)	(H29末)	(H31末)												
<ul style="list-style-type: none"> <li>馬淵川において平成25年9月洪水と同等の出水に対し、床上浸水の恐れがある家屋戸数。</li> <li>要改修区間延長に対する、時間雨量40mm相当の降雨により想定される外水被害を防止できる河川区間延長の比率。</li> <li>機能を回復・向上させるための施設改良が必要な管理ダム数。</li> </ul>					42戸	24戸	12戸												
					38.6%	39.1%	39.5%												
					4箇所	4箇所	3箇所												
全体事業費	合計（A+B+C+D）	3,396百万円	A	3,396百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
事後評価（中間評価）																			
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																			
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期			令和3年3月31日											
県河川砂防課で実施					公表の方法			県ホームページで公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																			
交付対象事業																			
A1 河川事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
A1-1	河川	一般	青森県	直接	青森県	広域1	改修	馬淵川広域河川改修事業	築堤・護岸・掘削（L=4.7km）	三戸町・南部町	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	1,800	1.13	-	
A1-2	河川	一般	青森県	直接	青森県	広域1	改修	平川広域河川改修事業	築堤・護岸・掘削（L=3.1km）	弘前市、平川市、大鰐町	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	150	3.10	-	H30～平川・引座川工区、大和沢川工区
A1-3	河川	一般	青森県	直接	青森県	広域1	改修	十川広域河川改修事業	築堤・護岸・掘削（L=0.7km）	五所川原市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	160	2.79	-	
A1-4	河川	一般	青森県	直接	青森県	広域1	改修	旧十川広域河川改修事業	築堤・護岸・掘削（L=1.2km）	五所川原市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	100	1.79	-	H30～金木川工区
A1-5	河川	一般	青森県	直接	青森県	広域1	改修	七戸川広域河川改修事業	築堤・護岸・掘削（L=1.0km）	東北町ほか	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	185	3.05	-	
小計											2,395	-	-						
A2 ダム事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
A2-1	ダム	一般	青森県	直接	青森県	堰堤改良	改良	小泊ダム堰堤改良事業	情報収集設備改良等	中泊町	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	431	-	策定済	
A2-2	ダム	一般	青森県	直接	青森県	堰堤改良	改良	下湯ダム堰堤改良事業	情報収集設備改良等	青森市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	90	-	策定済	
A2-3	ダム	一般	青森県	直接	青森県	堰堤改良	改良	久吉ダム堰堤改良事業	情報収集設備改良等	平川市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	480	-	策定済	
A2-4	ダム	一般	青森県	直接	青森県	堰堤改良	改良	飯詰ダム堰堤改良事業	情報収集設備改良等	五所川原市	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	0	-	策定済	
小計											1,001	-	-						
合計											3,396	-	-						
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31					
合計											0	-	-						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 3年 3月 31日

計画の名称	青森県における総合的な浸水被害対策の推進（防災・安全）緊急対策					重点計画の該当	○									
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	青森県													
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県全域において、時間雨量40mm相当（概ね1/10）の降雨により想定される外水による浸水被害の防止・軽減を図り、青森県基本計画未来への挑戦に掲げる「安全で安心できる県土づくり」を推進する。</li> <li>施設の経年劣化の進行等により機能が低下したダム施設の機能の回復・向上を図る。</li> </ul>															
C 効果促進事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
										合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
										合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>馬淵川において河川改修を実施することにより、平成25年9月洪水と同等の出水に対し床上浸水の恐れがある家屋戸数を減少させることができた。</li> <li>河川改修の進捗により、外水による浸水被害が防止・軽減され、住民の安全・安心を向上させることができた。</li> <li>小泊ダムにおいて堰堤改良を実施したことにより、設備機器が更新・改良され、確実なダム操作と機能の回復・向上が図られた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（馬淵川において平成25年9月洪水と同等の出水に対し、床上浸水の恐れがある家屋戸数。）	最終目標値	12戸	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	12戸		
	指標②（要改修区間延長に対する、時間雨量40mm相当の降雨により想定される外水被害を防止できる河川区間延長の比率。）	最終目標値	39.5%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	39.3%		
	指標③（機能を回復・向上させるための施設改良が必要な管理ダム数。）	最終目標値	3施設	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	3施設		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

未完了事業については、新たな社会資本総合整備計画において引き続き事業の進捗を図り、「安全で安心できる県土づくりの推進」に努めていく。

参考図面（防災・安全交付金）

